

# 建築用塗膜防水材料

## セブンウォール

タイルへの水性なみがた仕上げ

## 施工要領書

2024年7月改訂版



**Seven Chemical**  
**株式会社 セブンケミカル**

# 目次

1. セブンウォールの標準工程(水性なみがた) .....	2
2. 適応下地 .....	2
3. 施工条件 .....	2
4. 施工上の注意 .....	3
5. 使用材料一覧 .....	4

## 1. セブンウォールの標準工程(水性なみがた)

工程	使用材料	希釈 (重量比%)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	工程間隔 (時間)	使用器具	
1	下塗り	水性セブン S シーラー I	無希釈	0.13	2 以上 168以内	中毛ローラー、刷毛 エアレススプレーなど
2	主剤 基礎塗り	セブンウォール	水道水 (1~3)	1.0	5 以上 168 以内	多孔質ローラー (粗目)
3	主剤 基礎塗り	セブンウォール	水道水 (1~3)	1.0	16以上 168 以内	多孔質ローラー (粗目)
4	上塗り	セブンウォールトップ W-SS	水道水 (0~20)	0.15	3以上 168 以内	中毛ローラー、刷毛 エアレススプレーなど
5	上塗り	セブンウォールトップ W-SS	水道水 (0~20)	0.15	24 時間 最終養生	中毛ローラー、刷毛 エアレススプレーなど

※ ひび割れ部分への対応はスーパーセブンを下塗りの主剤基礎塗りの工程の間で行ってください。  
スーパーセブンは、ひび割れ幅0.2mm~2mm未満とし、ひび割れをまたぎ50mm程度の幅で延長50mm以上を端部に段差の無いように塗付けてください。

## 2. 適応下地

コンクリート打ち放し仕上げ、モルタル塗り仕上げ、の各外壁面  
他下地については要相談となります。

## 3. 施工条件

- ① 外気温が5℃以下 35℃以上、湿度は80%Rh以上の環境での施工は避けてください。  
(外気温だけではなく躯体温度も含まれます。)
- ② 施工時及び材料の乾燥硬化の過程で降雨が予想される場合は施工を避けてください。
- ③ 施工前後で結露・霧・雪・霜等が予想される場合は施工を避けてください。
- ④ 強風の時は、塗材の飛散被害・塗付けムラ等の支障をきたしますので、十分風養生対策を行うか施工を避けてください。
- ⑤ 全面を施工しない場合、取合い部から水分の影響を受けないようにシーリング目地で見切り施工を行ってください。
- ⑥ 材料は、風雨・直射日光を避け 5℃以上の冷暗所で保管してください。
- ⑦ 材料については SDS を確認してください。

#### 4. 施工上の注意

「セブンウォール」は JISA6021 を取得したアクリルゴム系の建築用塗膜薄層水罪になります。中塗り膜厚を確保することで防水性能を発揮しますので単位面積当たりの使用量を塗付けてください。

##### (1) 下地処理

- ① 下地の欠損や浮きなどの箇所は適切な下地補修を行ってください。
- ② シーリング材については、塗重ね適合性を確認してください。JIS A 5758(建築用シーリング材) NBタイプが良好です。シーリング面に仕上げ塗材を塗る場合、シーリングが硬化した後、塗重ね適合性に合った必要な処理を行ってください。
- ③ 入り隅部へは、主剤基礎塗り前にスーパーセブン又はセブンウォール先行塗りすることで防水効果が向上します。(シーラー塗り後の工程になります。)
- ④ 付着性能に影響を起こす可能性がありますので十分な下地洗浄(高圧水洗浄)を行ってください。
- ⑤ 水洗後の下地は十分乾燥させてください。

##### (2) 下塗り

下地の吸い込みムラを防止し、下地と主材との接着をより強固にするために、水性セブン S シーラー I をウールローラー、エアレススプレー、刷毛などで下地面に無希釈で均一にムラなく十分塗付してください。

##### (3) 主剤基礎塗り

ひび割れ部分については中塗り施工前に補強塗り(スーパーセブン又は、セブンウォールを行ってください。

- ① 指触確認し、下塗りの乾燥後(3時間以上)中塗りを始めてください。
- ② 必要に応じて1~3%の水道水を入れ、上下層を攪拌機で気泡の入らないよう均一に攪拌してください。
- ③ セブンウォール主材を多孔質ローラー(粗目)で1.0kg/m<sup>2</sup>均一にムラなく塗付してください。

※ セブンウォール塗付けから材料の完全硬化までの間隔に触れてしまうと塗膜表層の仕上がりが変わってしまいます。同じように塗継ぎ箇所ができ中途半端な時間で塗重ねてしまうと塗重ね箇所の仕上りの統一性を保てなくなることがあります。

##### (4) 上塗り

施工完了後、十分乾燥硬化させるため24時間以上乾燥養生してください。

## 5. 使用材料一覧

工程	製品名	容量	荷姿	備考
下塗り	水性セブン S シーラー I	15kg 4kg	石油缶	水性 1液 ナノカチオン樹脂
中塗り	セブンウォール	18kg	石油缶	水性1液 アクリルゴム
上塗り	セブンウォールトップ W-SS	15kg 4kg	ポリ容器	水性 1液 アクリルシリコン樹脂
下地緩衝材	スーパーセブン	6kg	ポリ缶	水性 1液 アクリルゴム



東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビル A 館 12F

TEL 03(6809)2597 FAX 03(6809)2598

<https://www.seven-chemical.co.jp>